



平成30年5月11日

各位

会社名：NCホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 吉川 勝博

(コード：6236 東証第一部)

問合せ先：取締役管理本部長 村田 秀和

電話番号：03-6859-4611

**当社子会社大阪本部移転及びコンベヤ関連セグメントにおける減損処理に伴う特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、グループの会社機能の一元化と事業シナジーの創出及び販売費及び一般管理費の削減等を目的とし、当社子会社である日本コンベヤ株式会社及びエヌエイチパーキングシステムズ株式会社の大阪本部が所在する大東拠点並びにエヌエイチパーキングシステムズ株式会社の上本町事務所を閉鎖し、OMMビル（大阪府中央区大手前一丁目7番31号）に統合・移転することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

これに伴い、平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）において、特別損失を計上いたしますのであわせてお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社子会社大阪本部移転の概要について

新所在地	大阪府中央区大手前一丁目7番31号
移転予定日	平成30年10月（予定）
移転の理由	当社グループの会社機能の一元化と事業シナジーの創出及び販売費及び一般管理費の削減等を目的とし、大阪本部と上本町事務所を集約することにより、本部機能の充実と社内各部門間におけるコミュニケーションの向上を図り、生産性向上及び経営の合理化を図るものであります。

2. 移転による特別損失の計上について

この移転に伴い発生する、移転損失引当金繰入665百万円、減損損失260百万円、合わせて925百万円について、平成30年3月期において特別損失として計上いたします。

3. コンベヤ関連セグメントにおける減損損失の計上について

コンベヤ関連セグメントにおいて、公共事業関係のコンベヤ設備等の受注を中心に売上は回復傾向にあるものの、原材料価格の高騰等による収益性低下が長期化し、減損の兆候が認められたことにより、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、当連結会計年度決算において、固定資産の一部の帳簿価額を回収可能額まで減額し、233百万円を減損損失として、平成30年3月期において特別損失に計上いたします。今後はグループ再編、M&Aによる規模拡大も視野に入れ、収益構造の立て直しを図ります。

4. 平成30年3月期通期業績予想の修正について

連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	400	400	250	38.97
今回修正予想(B)	13,417	737	887	△291	△45.42
増減額(B-A)	△583	337	487	△541	
増減率(%)	△4.2	84.4	121.9	-	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	10,880	187	235	△122	△19.02

(修正の理由)

コンベヤ関連事業における電力関連、土木関連設備の納入、立体駐車装置関連の新設納入等が堅調に推移いたしました。平成30年3月期の売上高は平成29年5月12日公表の業績予想を583百万円下回る13,417百万円となる見込みです。営業利益・経常利益につきましては、コスト削減・経費の圧縮など徹底した合理化を推進したことに伴い、それぞれ同業績予想を337百万円上回る737百万円、同業績予想を487百万円上回る887百万円となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失の計上に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を541百万円下回る△291百万円となる見込みです。

なお、通期配当予想（平成30年3月期期末予想 無配）につきましては、変更ありません。

(注) 上記の業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上